

2021/4/13 プログラム共通事項、誓約事項の追記 (P.8 ~)
2021/5/6 「持続可能な地域の価値づくり」日程修正 (P.4)
2021/5/10 プロジェクト研究関連追記 (表紙、P.4)
申請前の確認事項追記 (表紙、P.7)

フィールド・スタディ / プロジェクト研究 2021 年度夏期実施プログラム 募集要項

募集期間	実習期間	募集プログラム
2021/5/6(木)～2021/5/20(木) 16:30	2021 年度夏休み (2021 年 8～9 月)	P.4 参照

「2021夏、まだ見ぬ世界へ飛び込もう。」



[申請前の確認事項 (フィールド・スタディ)]

- ・ 新型コロナウイルス感染状況によって、中止する可能性があります。
- ・ 中止になった場合、オンラインなどによる代替プログラムは行いません。
- ・ 中止になった場合、プログラム開始後でも成績ならびに単位は付与されません。
- ・ プログラムの中止や中断、内容の変更があった場合、本学および派遣先にいかなる費用も請求せず、キャンセル費用等を負担する必要があります。
- ・ 新型コロナウイルスの感染状況や受入機関の希望により PCR 検査を受け陰性であることが証明できた場合のみ、現地でのプログラムに参加を認める可能性があります。その場合は自費で PCR 検査を受けていただくことになります。(2021/5/10 追記)

[申請前の確認事項 (プロジェクト研究)] (2021/5/10 追記)

- ・ 新型コロナウイルス感染状況によって、派遣中止判断を行う可能性があります。
- ・ 派遣中止となった場合、オンラインに移行して実施します。
- ・ 状況によっては派遣直前にオンラインに切り替わる可能性があります。
- ・ プログラムの中止や中断、内容の変更があった場合、本学および派遣先にいかなる費用も請求せず、キャンセル費用等を負担する必要があります。
- ・ 新型コロナウイルスの感染状況や受入機関の希望により PCR 検査を受け陰性であることが証明できた場合のみ、現地でのプログラムに参加を認める可能性があります。その場合は自費で PCR 検査を受けていただくことになります。

フィールド・スタディ / プロジェクト研究とは

■フィールド・スタディ■

【アジア太平洋学部における特色】

アジア太平洋学部のプログラムでは、アジア太平洋学の枠組みにおいて、ある事象について包括的に学修し、専門性、誠実さ、共感をもって国際社会で活躍できる人材を育てることを目的とする。参加学生は、異なる価値観・文化を持つ他者と適切に協働することを学び、様々な事象について観察、分析、調査、議論し、組織的な解決策を講じられるようになることを目指す。

【国際経営学部における特色】※今回、国際経営学部(APM)開講のプログラム募集はありません。

国際経営学部のプログラムでは、国際的かつ批判的な思考力及び知識・技能を持つ人材の育成を促進することを目的とする。また、専門科目に対する関連付けを高めるために、経済・経営に関する反転的な学習を経験できる。

■プロジェクト研究■

プロジェクト研究は、専門演習(ゼミ)を履修する3、4回生の学生を対象とした連携型プログラムです。プログラムはプロジェクト研究担当教員のゼミを履修する学生を対象に、国内外で実施しています。学生はゼミの授業に加え、プロジェクト研究に参加することで、自身の研究課題に対してより深い専門知識を修得し、その後の卒業論文の執筆へと繋げています。

*「プロジェクト研究」の英語表記はカリキュラムによって異なりますので注意してください。

-2011年度カリキュラム: Applied Training

-2017年度カリキュラム: Field Research Project

プログラムの流れ

[APU] 事前授業



[現地実習]

視察: テーマに基づいて選定された地域・組織・企業などの視察を行うことで、知見を深める。

実践/調査分析: 国内外の現地の専門家などより専門知識を習得する。

研究課題/実習: 現地で調査研究活動など参加しながら、課題意識、研究を深める。



[APU] 事後授業

申請要件

■フィールド・スタディ■

【セメスター】

- ・ 申請セメスター時(2021 年度春セメスター)、3-7 セメスターであること。

【学籍状態】

- ・ プログラム実施セメスター(2021 年度春セメスター)に、通常在籍していること。
- ・ プログラム実施セメスター(2021 年度春セメスター)に、在籍状態が「留学」「休学」となる場合は受講不可。
- ・ プログラム実施セメスター(2021 年度春セメスター)が最終セメスターの場合、申請不可。
- ・ 停学中の学生は、申請締切日までに停学期間が終了する場合には、申請することができます。

【言語学修状況】

- ・ プログラム実施セメスター(2021 年度春セメスター)で、以下条件を満たしていること。

英語基準学生が日本語開講プログラムを受講する場合

- － 日本語で授業が行われるため、授業内容を理解することができる程度の日本語能力が必要です。

【所属学部】

- ・ 受講者の選考にあたっては、開講学部にも所属する学生が優先される場合があります。ただし、開講学部の所属学生以外も申請できます。

【その他】

- ・ 上記以外にシラバスの「履修の目安」や「学生への要望事項」が定められている場合があります。詳細は、それぞれのシラバス(5 月 6 日公開予定)で確認してください。

■プロジェクト研究■

【セメスター】

- ・ 申請セメスター時(2021 年春セメスター)、5-7 セメスターであること。

【学籍状態】

- ・ プログラム実施セメスター(2021 年度春セメスター)に、通常在籍していること。
- ・ プログラム実施セメスター(2021 年度春セメスター)に、在籍状態が「留学」「休学」となる場合は受講不可。
- ・ プログラム実施セメスター(2021 年度春セメスター)が最終セメスターの場合、申請不可。
- ・ 停学中の学生は、申請締切日までに停学期間が終了する場合には、申請することができます。

【その他】

- ・ 申請セメスター(2021 年度春セメスター)にプログラム担当教員の 3・4 回生演習科目を履修中であり、次セメスター(2021 年秋セメスター)も同演習を継続する意思があること。(3・4 回生演習科目にはサブゼミも含まれます。)
- ・ 担当教員の演習科目(専門演習、卒業研究)に所属していること。所属学部は関係なく申請できます。
- ・ 上記以外にシラバスの「履修の目安」や「学生への要望事項」が定められている場合があります。詳細は、シラバス(5 月 10 日公開予定)で確認してください。

科目集計分野

科目集計分野

■フィールド・スタディ■

[2011 年度カリキュラム]

プログラム開講学部	APS 学生	APM 学生
APS	専門教育科目	自由選択

[2017 年度カリキュラム]

プログラム 開講学部	科目名	APS 学生					APM 学生
		APS 専門教育	ED 専門	HT 専門	IRP 専門	CSM 専門	APM 専門教育
APS	環境・開発 フィールド・スタディ (ED)	○	○	-	-	-	他学部科目

■プロジェクト研究■

【2011 年度カリキュラム】

プログラム開講学部	APS 学生	APM 学生
APS	専門教育科目	自由選択

【2017 年度カリキュラム】

プログラム開講学部	APS 学生	APM 学生
APS	専門教育科目	他学部科目

募集プログラム

【プログラム一覧】

■フィールド・スタディ ■※今回、APM 開講のプログラム募集はありません。

開講 学部	学修 分野	科目名 【上段】11 年度カリ、 【下段】17 年度カリ	プログラム名	担当教員	実習地	日程	単位数	開講言語
APS	ED	フィールド・スタディ 環境・開発フィールド・スタ ディ	障害と社会	山形 辰史	大分県 別府市、日出町	事前授業:8 月 1 日(日) 実習:8 月 2 日(月)-8 月 5 日(木) 事後授業:8 月 6 日(金)	2	E/J
APS	ED	フィールド・スタディ 環境・開発フィールド・スタディ	持続可能な地域の価値づくり: 長野県飯田市における調査	土橋 卓也	長野県 飯田市	事前授業:6 月 30 日(水)5-6 限、7 月 14 日(水)6 限 現地実習(オンライン):8 月 11 日(水)、 現地実習(派遣):9 月 7 日(火)~9 月 10 日(金) ※訪問先の都合により一部変更される場合があります。 ※日程は短縮される可能性があります (2021/5/6 赤字部分修正)	2	J

■プロジェクト研究 ■※現地への派遣ができない場合、オンライン代替プログラムを実施します。※詳細はシラバス参照

開講 学部	科目名	プログラム名	担当教員	実習地	日程 (2021/5/10 修正)	単位数	開講言語
APS	プロジェクト研究	NPO/NGO 研究	清家 久美	新潟県 上越市	事前授業: 6 月 8 日、6 月 15 日、7 月 6 日、7 月 13 日、7 月 20 日(全 て 5 限) 実習: 9 月 6 日(月)-9 月 13 日(月) 事後授業: 9 月 14 日 4 限分	4	J

[注意] ・ 各プログラムの詳細は、必ずシラバス(5 月 6 日公開予定)で確認してください。シラバスはアカデミック・オフィスホームページに掲載しています。(URL は P.4 に掲載)

- ・ このプログラムの単位は、各セメスターの履修科目登録上限単位数には含まれません。
- ・ このプログラムの履修登録は、大学が行います。

プログラムごとの成績について**■フィールド・スタディ■**

プログラム名	担当教員	成績授与セメスター	成績発表時期	成績評価
障害と社会	山形 辰史	2021 年度 春セメスター	2021 年度秋セメスター 10 月末	A+、A、B、 C、F
持続可能な地域の価値づくり：長野県飯田市における調査	土橋 卓也			

■プロジェクト研究■

プログラム名	担当教員	成績授与セメスター	成績発表時期	成績評価
NPO/NGO 研究	清家 久美	2021 年度 春セメスター	2021 年度秋セメスター 10 月末	A+、A、B、 C、F

募集概要

募集プログラム

今回募集するプログラムは、「募集プログラム」(P.4 で確認してください)。

複数のプログラムへの申請について

- ・ 申請条件を満たす場合、複数プログラムへの申請が可能です。複数プログラムに申請する場合、申請する全てのプログラム分のオンライン申請をしてください。なお、オンライン申請の際、入力開始画面に「複数のプログラムに申請しますか」という問いが表示されますので、必ず「はい」を選択し、必要事項を入力してください。
- ・ オンライン申請において「実習日程および事前・事後授業の日時が重複しないプログラムに複数合格した場合、全てのプログラムへの参加を希望しますか？」に対して「はい」と選択していた場合も、申請したプログラム同士の実習・授業等の期間が重複している場合は、申請時に選択した優先順位に基づいて、選考を行います。

申請方法

各設定期間中に、以下 **2つの Step** を行ってください。

Step 1: 2021 / 5 / 6 (木) ~ 2021 / 5 / 20 (木) 16:30

指定の HP(下記)からオンライン申請ページにアクセスしてください。

オンライン申請ページは募集期間開始と同時にアカデミック・オフィス HP 上に公開します。

※複数回提出した場合、提出日が新しいものを受け付けます。

☞ アカデミック・オフィス HP(右記 QR コードからもアクセス可能):

<http://www.apu.ac.jp/academic/page/content0017.html>



Step 2: 2021 / 5 / 6 (木) ~ 2021 / 5 / 20 (木) 16:30

誓約書をオンライン提出してください。

- ・ 学生本人、及び保証人(保護者)の両者の電子署名が必要です。
- ・ 学生の署名欄は学生本人が、保証人署名欄は保証人本人が記入してください。

＜オンライン提出の仕方＞

- 1) 学生本人が、フィールド・スタディの HP 上に公開されている誓約書ファイルを開く
- 2) 学生本人の記入が求められている箇所オンライン上で記入・署名する **※署名は描画ですること**
- 3) 学生本人欄の記入が完了後、保証人(保護者)のメールアドレスを指定し、送付設定する
- 4) 自身のメールボックスに届くメールを開き、“電子メールアドレスを確認”をクリック
- 5) クリック後、保証人(保護者)のメールアドレスへ、誓約書が自動で送付される
- 6) 保証人(保護者)は受け取った誓約書ファイルを開き、求められている箇所オンライン上で記入・署名する **※署名は描画ですること**
- 7) 全員の署名が完了すると、全ての関係者に誓約書の完了済みコピーが PDF 形式で送信される(提出完了)

＜電子署名の対応が出来ない場合＞

下記アドレスまでお問い合わせください。

Email: atfs@apu.ac.jp (お問い合わせの際、件名に「フィールド・スタディ誓約書の件」とご記入ください。)

選考方法

- ・ 書類審査による総合的な選考を行います。(書類選考の段階で面接が必要と判断された場合は、別途連絡します。)
- ・ 申請者が多い場合、各プログラム実施学部所属学生が優先されます。

募集ガイダンス日程

日時: 2021/5/10(月) 5 限、2021/5/12 (水) 5 限 ※内容は同様
Zoom ミーティング ID: 936 6732 7727

選考結果発表

2021 / 6 / 8 (火) 午後 Campus Terminal「あなた宛ての重要なお知らせ」で通知

参加における注意事項

【注意】基本的な注意事項は巻末添付「プログラム共通事項」に記載しているため、必ず確認した上で申請してください。本プログラム独自の参加条件を以下に記載していますので、熟読した上で応募を検討してください。

1. 経費

プログラムに要する費用

- ・プログラム参加には所定のプログラムに要する費用を支払う必要があります。詳しくは、各プログラムのシラバスを参照して下さい。
- ・プログラムに要する費用は、シラバスに掲載しておりますので必ずご確認ください。
- ・プログラムに要する費用の支払い方法・期日は、担当教職員の指示に従ってください。
- ・国内旅行保険は、クレオテックにて加入してください。詳細は合格発表時にお知らせします。
- ・**6月23日(水)**までに国内旅行保険に加入していない場合、プログラムへの参加を取り消します。
- ・新型コロナウイルスの感染状況や受入機関の希望により、自費でPCR検査を受けていただく可能性があります。(2021/5/10 追記)

2. 参加において必要な手続き等

現地への交通手配は、担当教員の指導の下、個人で手配をする必要があります。

3. 注意事項

履修登録における注意事項

- ・事前・事後授業及びプログラム期間が、正課の講義・補講や定期試験・追試験、履修登録期間や正課外活動や研修などと重なる場合も特別な配慮はありません。あらかじめ学年暦やその他の活動期間とプログラム期間を確認してください。
- ・既に登録済みの2021年度春semester第2クォーター科目・夏セッション科目と、希望するフィールド・スタディ、または、プロジェクト研究のプログラム実施期間(事前授業、実習、事後授業)が重複している場合も、プログラムへ申請することは可能です。ただし、プログラムへの受講が決定した場合は、必ず、各自、履修登録修正期間2で春semester第2クォーター科目・夏セッション科目の履修登録を削除してください。
- ・停学になった場合を含み、キャンセルにかかる費用は学生本人の負担となります。

4. プログラムの中止について

- ・新型コロナウイルス感染状況によって、中止する可能性があります。
- ・中止になった場合、オンラインなどによる代替プログラムは行いません。※プロジェクト研究除く
- ・中止になった場合、プログラム開始後でも成績ならびに単位は付与されません。
- ・プログラムの中止や中断、内容の変更があった場合、本学および派遣先にいかなる費用も請求せず、キャンセル費用等を負担する必要があります。

(プロジェクト研究のみ、以下追加事項)

- ・現地への派遣ができない場合(新潟県か大分県のいずれかに緊急事態宣言が発令された場合等)、オンライン代替プログラムを実施します。
 - 新潟県に緊急事態宣言が発令された場合：現地講義はオンライン形式とし、その他講義部分は対面を原則とします。
 - 新潟県と大分県に緊急事態宣言が発令された場合：全てオンライン形式で実施します。
- ・中止になった場合、オンラインに切り替えて実施します。※状況によっては、一部対面で実施
- ・派遣の中止に関わる辞退は認めません。オンラインに切り替わる可能性があることを十分理解した上で申請してください。
- ・オンライン実施になった場合も履修登録は継続されます。(履修削除をすることはできません。)

その他

・ 宿泊

シラバスに掲載されている各プログラムの宿泊形態を確認してください。
宿泊先では、宿泊施設のルールや指示に従ってください。

・ 参加資格について

プログラムへの受講許可が下りていない学生がプログラムへ参加することはできません。

スケジュール

日程	内容
2021 年	
5/6 (木)	募集開始
2021/5/10(月) 5 限、 2021/5/12 (水) 5 限 ※内容は同様	募集ガイダンス Zoom ミーティング ID: 936 6732 7727
5/20(木) 16:30	募集締め切り
	誓約書提出締め切り
6/8(火)	選考結果発表
6 月～8 月(プログラムによる)	APU にて事前授業 (日程はシラバス参照)
8 - 9 月	実習及び APU にて事後授業/レポート提出 (プログラムによる。詳細はシラバス参照)
10 月末	成績発表

上記以外にも各種ガイダンスが行われる場合があります。詳しくは参加決定後にご案内します。

フィールド・スタディ / プロジェクト研究に関する問い合わせ先

アカデミック・オフィス B 棟 1 階

TEL 0977-78-1101 / FAX: 0977-78-1102

担当者: アカデミック・オフィス 広地、津田、伊東、井戸沼

Email: atfs@apu.ac.jp

プログラム共通事項

1. 査証(ビザ)

出発から帰国までに必要となるビザを確認の上、学生本人の責任で申請してください。必要となるビザは、学生の国籍や派遣国・地域、滞在期間などによって異なります。必要となるビザ(トランジットビザを含む)および必要書類等は各大使館のホームページ等で各自確認してください。なお、ビザ申請要件は予告無しに変更される場合がありますので、最新情報を入手するようにしてください。オンアライバルビザ(On-arrival Visa)での参加は、ビザ発給国の定めにより渡航前にビザを取得できない場合以外は原則認められません。

万一、所定の期日までにビザが取得できない場合は、派遣・留学は取り消しとなります。また、派遣・留学開始時期の変更等はいきません。

その際にかかるキャンセル料は、参加者の負担となります。負担するキャンセル料と成績については「免責事項・留意事項」に準じて取り扱います。

〔国際学生のみ〕

プログラム実施国のビザ以外に、日本の在留許可期限及び再入国許可の条件を確認してください。在留許可期限の更新・再入国許可について分からないことがあれば、チューデント・オフィスで確認してください。

注意)プログラムによってはビザの申請を代行会社に委託している場合があります。詳細はプログラム担当者に確認してください。

2. 保険

個人で既に参加している場合も含め、APU 及び派遣先大学が指定する国内・海外旅行保険、JCSOS 危機管理システム(J-TAS)等への加入が必要です。保険加入に関する詳細は、事前授業又は参加者ガイダンスで説明します。

3. 予防接種

事前授業又は参加者ガイダンスにて、APU ヘルスクリニックが推奨する予防接種の種類などを案内します。ヘルスクリニックが推奨する予防接種は必須ではありませんので、接種するかどうか各自判断してください。接種を希望する場合は、各自ヘルスクリニックで受診の手続きを行ってください。

ただし派遣先によっては予防接種が必須になる場合があるため、ガイダンス内の指示に従ってください。

4. 派遣の中止や内容の変更、参加の取り消し

① 次の条件に当てはまる場合は、教学部長が学生派遣の中止を判断します。

- 1) 派遣先国・地域についての外務省の危険情報または感染症危険情報がレベル 2 以上である場合

- 1-1) 交換留学プログラム、ダブルディグリープログラム、個別合意に基づく留学、短期サマー・ウィンタープログラムについては、レベル 2 では中止を基本方針としつつ

も、参加者およびその保護者の責任において現地渡航を希望する場合には教学担当副学長が当該参加者の派遣を認めることがあります。レベル 3 以上については例外なく中止します。

2) 社会情勢を鑑み、プログラムを安全に実施できないと考えられる場合

2-1) 中止判断にあたり留意されることは、実習先での天災・災害・ストライキ・伝染病・現地情勢の変化・交通機関の運航状況・現地医療状況・戦争・テロ・引率者の怪我や急病及びそれに類する事象・危機発生時の派遣先機関における派遣学生への支援内容・その他不可抗力に起因する事態が発生した場合等が想定されます。

3) 派遣先大学が、渡航を伴う APU からの学生受入中止を判断した場合

② 以下のいずれかに該当する場合、合格発表後であっても、参加者のプログラム参加が取り消されることがあります。なお、交換留学、ダブルディグリープログラム、短期サマー/ウィンタープログラムを除くプログラムについては、参加を取り消された場合、成績は原則として「F」評価となります。

A) 参加態度・出席状況などを勘案し、受講不適当と判断された場合

B) 選考結果発表後、懲戒処分の対象となった場合

C) 指定の海外旅行傷害保険などに加入しない場合や、書類の提出を怠る、必要なガイダンスに参加しないなど大学の指示に従わない場合

D) 負傷・病気等で留学が適当でないと大学が判断した場合

E) 不正行為を行った場合

F) その他学生としての本分に反した場合

③ 受講が取り消された時点で既に発生している費用については、学生本人が費用を支払う必要があります。

5. 選考結果発表後の辞退について

本学は皆さんがプログラム申請をした時点で受講の意思があるものとして選考を行います。従って、選考結果発表後の辞退は原則認められません。

申請する際は、事前にプログラム内容をよく確認し、辞退することのないよう準備を行ってください。なお、期日内に大学が指定した費用の支払いがない場合は辞退したものと扱います。キャンセル料については、次項「6. キャンセル料について」を参照してください。単位付与があるプログラムの場合、辞退した者の成績評価は原則として「F」評価となります。

6. キャンセル料について

選考結果発表後に辞退せざるを得ない状況が生じた場合、辞退する学生は、その時点までに発生した費用を支払わなければなりません。キャンセル料には、銀行手数料(海外送金手数料等)も含まれます。

既にプログラムに要する費用を大学に納入済みの場合、キャンセル料を差し引いた差額を

返金します。返金手続きは、一定時間を要します。

7. 履修計画について

本プログラムによる履修科目・修得単位数が、卒業までの履修計画において問題がないか、十分に確認してください。選考結果発表後に問題が判明した場合および「**4.派遣の中止や内容の変更、参加の取り消し**」に記載している事象が発生した場合も、特別な配慮等はしません。自己責任において、プログラムの応募を行ってください。

注意) 講義内容が同じプログラムに複数回参加することはできません。

申請を希望するプログラムが、すでに修得済みのプログラムの内容と同一かどうか不明な場合は、事前にアカデミック・オフィスにお問い合わせください。

8. 個人情報の取扱いについて

詳細は、誓約書を参照してください。

9. プログラム参加にあたって

- 1_プログラムでの経験が有益なものになるかどうかは、参加者自身の姿勢や努力が大きく左右します。海外で異文化を受け入れる柔軟性や積極的な学習姿勢を持つことが必要です。各自でプログラムの参加目的をしっかりと定めてください。なお、派遣前後に行う事前/事後授業やガイダンスへの出席は必須です。無断欠席は認めません。その他、書類や課題などの提出期日は必ず守ってください。
- 2_プログラム参加中は「プログラムに参加するにあたっての遵守事項(誓約書)」および「Off-campus Study Program へ参加する学生のための危機管理ガイドライン」を遵守してください。

遵守事項(交換留学、ダブルディグリー・プログラム、EXPLORE、APU グローバルリサーチプログラム、短期サマー/ウィンタープログラムを除く)

1. 基本姿勢

立命館アジア太平洋大学 Off-campus Study Program (以下「プログラム」という。)に参加する学生は、次の点を遵守しなければならない。

- (1) プログラムの目的と主旨を理解し、積極的に真面目な態度で勉学に励まなければならない。
- (2) 立命館アジア太平洋大学 (以下「本学」という。)の学生として自覚と誇りを持って、本学および派遣先大学・機関 (以下「派遣先」という。)の名誉を傷つける行動は慎まなければならない。
- (3) プログラム期間中は、日本の法令および本学の諸規則の他、派遣先の国・地域の法令および諸規則を遵守し、本学および派遣先の教職員の指示に従わなければならない。
- (4) 遵守事項に反する事態を生じさせた場合は、本プログラムへの参加取消・帰国措置を命じられても、異議を申し立ててはならない。

2. 健康管理等

- (1) 健康管理は、自らの責任で行うこと。
- (2) 渡航前に、本学が指定する海外旅行傷害保険および危機管理支援システム (J-TAS) 等へ加入すること。(海外プログラムのみ)
- (3) 既往症等ある場合は、申し出ること。
- (4) 「Off-campus Study Program参加学生 健康状況および学習面における支援自己申告書」を提出すること。
- (5) 傷病等により入院加療の医療措置が必要となった場合は、すみやかに本学および派遣先に報告するとともに教職員の指示に従うこと。ただし、これらの措置に必要な費用の内、保険の補償限度額超過分については、本人が負担すること。
- (6) 緊急に医療手当または手術の必要が生じ、本人または保証人の同意を得る時間的猶予がない場合は、本学もしくは派遣先の教職員または医師の判断によって処置することに同意すること。
- (7) 本学もしくは派遣先の教職員によって医療行為が必要と判断された状況下で、自らの意思で受診をしなかった場合、如何なる問題が起こったとしても本学、派遣先はその責任を負わない。

3. 経費および補償

- (1) プログラムに要する費用 (実習費・宿泊費・交通費・保険料等) は、指定の期日までに納入すること。
- (2) 募集要項に定める所定の期日後に、本人の傷病、処分等の理由によってプログラムへの参加または継続ができなくなった場合、または辞退した場合には、必要経費 (派遣先から本学に請求された必要経費を含む) を負担すること。
- (3) 天災・災害・ストライキ・伝染病・現地情勢の変化・交通機関の運航状況・現地医療状況・戦争・テロ・引率者の怪我や急病及びそれに類する事象・その他不可抗力に起因する事態によって、プログラムの中断や内容の変更があった場合、本学および派遣先にいかなる費用も請求せず、3. (2) と同様の費用を負担すること。
- (4) 本人の不注意または本学および派遣先が管理できない状況下で、事故、病気または死亡事故が発生した場合、本学および派遣先に対して何等の金銭的またはその他の責任を問わないこと。
- (5) 本人の所有物の盗難や損害、交通事故、刑事事件等が本学および派遣先が管理できない状況下で発生した場合は、本人の責任で対応しなければならないこと。
- (6) 故意または過失により、第三者または本学に損害を与えた場合は、賠償の責を負わなければならないこと。
- (7) プログラムの実習期間中に、本学、派遣先以外の第三者団体、個人、ホームステイ先等による不法行為が原因で本人に事故や損害が生じた場合、本人が訴訟やそれに関わる対応等の責任を負わなければならない。本学、派遣先はその責任を負わない。

4. 入国・帰国 (海外で実施されるプログラムのみ)

- (1) プログラム実施期間前に個人で入国してはならない。
- (2) プログラム実施期間終了後は、速やかに帰国しなければならない。派遣先国の滞在期間延長は、認められない。
- (3) (1) および (2) の規定にかかわらず、本学が必要と認めたプログラムにおいては、本学が事前のガイダンスで指定する方法により、日本出国日および日本帰国日を事前に大学に申告するとともに、自己責任で現地集合し、帰着するものとする。

5. 誓約書の提出

上記事項を理解し、本人および保証人による誓約書を提出すること。

誓 約 書

私は、下記プログラムに参加するにあたり、募集要項・シラバスおよび別紙の遵守事項を理解し、各事項を厳守し、誠実に履行することを、ここに誓約します。申請書やその他提出書類に記載した個人情報（氏名、性別、生年月日、その他本プログラムに係り大学へ提供した情報）は、プログラム参加手続および本学が管理・運営に関する業務の目的のために、本学内で使用されること、また、第三者（派遣先大学・機関、旅行代理店、査証取得代行会社、保険会社、危機管理サポート会社、宿泊施設、関係国（日本、参加学生の母国、派遣国）の在外公館及び政府機関）に提供されることに同意します。

本人記入欄

日付 年 月 日

本人氏名（署名） _____ ※「描画」で署名（入力不可）

学籍番号 _____

参加プログラム _____（派遣先大学・機関： _____）

学部 _____（ APM / APS ）

回生 _____（ 1 / 2 / 3 / 4 / その他）

郵便番号 〒 — _____

住所 _____

※入力した住所に誤りが無いかを再度ご確認ください

保証人記入欄

■私は、募集要項・シラバス及び別紙の遵守事項を本人に遵守させるとともに、これに反することによって生じた一切の事項について責任を持つこととします。また、プログラム参加において本人が負担する一切の債務については、プログラムに要する費用を限度額として保証いたします。

日付 年 月 日

保証人氏名（署名） _____ ※「描画」で署名（入力不可）

郵便番号 〒 — _____

住所 _____

※入力した住所に誤りが無いかを再度ご確認ください

電話番号 _____

本人との関係 _____

【以下のいずれかに該当する場合は、本誓約書を受理いたしません。】

- ・ 本人または保証人の署名がそれぞれの本人による直筆でない場合、または、両人の記入欄における筆跡が同一人物のものであると判断される場合
- ・ 友人や知人などが保証人になっているなど、その保証能力に欠けると本学が判断する場合
- ・ 記入欄に未記入箇所がある場合
- ・ その他、内容について虚偽の疑いがある場合